

## 部門費計算 第5問 問題

次の資料にもとづいて、下記の問いに答えなさい。

(配賦基準資料)

	合 計	切 削 部	組 立 部	動 力 部	修 繕 部	工場事務部
動力消費量	3,450 kw	840 kw	1,960 kw	290 kw	300 kw	60 kw
修繕時間	1,800 時間	900 時間	600 時間	300 時間	—	—
従業員数	282 人	94 人	76 人	28 人	54 人	30 人

- 問1 直接配賦法により、予算部門費配賦表を完成させなさい。
- 問2 問1の予算部門費配賦表にもとづいて、補助部門費の配賦に必要な仕訳を示しなさい。ただし、使用する勘定科目は、切削部、組立部、動力部、修繕部および工場事務部とする。
- 問3 問1の問題で切削部の基準直接作業時間が1,750時間、組立部の基準機械稼働時間が3,000時間であった場合における予定配賦率をそれぞれ求めなさい。また、仕掛品No.1の切削部直接作業時間が780時間、組立部機械稼働時間が1,200時間だとすると、仕掛品No.1への配賦額(第3次集計)を答えなさい。

問1

予算部門費配賦表

(単位：円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		切 削 部	組 立 部	動 力 部	修 繕 部	工場事務部
第1次集計後 部門費	890,000	155,400	277,600	252,000	120,000	85,000
工場事務部門費						
修繕部門費						
動力部門費						
製造部門費						

問2

借方科目	金額	貸方科目	金額

問3

切削部予定配賦率	円/時間
組立部予定配賦率	円/時間
仕掛品No.1への予定配賦額	円

# 部門費計算 第5問 模範解答

問1

予算部門費配賦表

(単位：円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		切 削 部	組 立 部	動 力 部	修 繕 部	工場事務部
第1次集計後 部門費	890,000	155,400	277,600	252,000	120,000	85,000
工場事務部門費	85,000	47,000	38,000			
修繕部門費	120,000	72,000	48,000			
動力部門費	252,000	75,600	176,400			
製造部門費	890,000	350,000	540,000			

問2

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
切 削 部	194,600	動 力 部	252,000
組 立 部	262,400	修 繕 部	120,000
		工場事務部	85,000

問3

切削部予定配賦率	200	円/時間
組立部予定配賦率	180	円/時間
仕掛品No.1への予定配賦額	372,000	円

## 【解説】

問1 直接配賦法により、第1次集計後の補助部門費を製造部門にのみ配賦する。

工場事務部；配賦基準は従業員数

$$\text{切削部} ; \frac{85,000\text{円}}{94人+76人} \times 94人 = 47,000\text{円} \quad \text{組立部} ; \frac{85,000\text{円}}{94人+76人} \times 76人 = 38,000\text{円}$$

修繕部；配賦基準は修繕時間

$$\text{切削部} ; \frac{120,000\text{円}}{900\text{h}+600\text{h}} \times 900\text{h} = 72,000\text{円} \quad \text{組立部} ; \frac{120,000\text{円}}{900\text{h}+600\text{h}} \times 600\text{h} = 48,000\text{円}$$

動力部；配賦基準は動力消費

$$\text{切削部} ; \frac{252,000\text{円}}{840\text{kw}+1,960\text{kw}} \times 840\text{kw} = 75,600\text{円} \quad \text{組立部} ; \frac{252,000\text{円}}{840\text{kw}+1,960\text{kw}} \times 1,960\text{kw} = 176,400\text{円}$$

問2 仕訳の借方の金額は、次のとおりである。

$$\text{切 削 部} ; 47,000\text{円} + 72,000\text{円} + 75,600\text{円} = 194,600\text{円}$$

$$\text{組 立 部} ; 38,000\text{円} + 48,000\text{円} + 176,400\text{円} = 262,400\text{円}$$

問3 問1で求めた製造部門費を基準操業度で割って予定配賦率を求め、予定配賦率に実際操業度を掛けて予定配賦額を求める。

$$\text{切削部予定配賦率} ; 350,000\text{円} \div 1,750\text{h} = 200\text{円/h}$$

$$\text{組立部予定配賦率} ; 540,000\text{円} \div 3,000\text{h} = 180\text{円/h}$$

$$\text{切削部予定配賦額} ; 200\text{円/h} \times 780\text{h} = 156,000\text{円}$$

$$\text{組立部予定配賦額} ; 180\text{円/h} \times 1,200\text{h} = 216,000\text{円}$$

$$\text{仕掛品No.1への予定配賦額} ; \underline{\underline{372,000\text{円}}}$$